

史料群番号 54

史料群名	くみや ろくろうざえもん 組屋六郎左衛門家文書	旧所蔵者	(組屋こすな)
探訪時住所	(福井県遠敷郡小浜町)		
現在の住所	福井県小浜市		
探訪年月	(昭和25(1950)年7月)		
史料の年代	不明	史料の総点数	2点
年代の内訳	近世 1点/近代 1点	筆写稿本	あり
既刊行目録	「1952年5月 漁業制度資料目録 第6集 全国篇Ⅳ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」		

収蔵にいたる経緯

「漁業制度資料目録 第6集」に「組屋こすな家文書」の目録が掲載されている。組屋氏は、室町時代以来の小浜の豪商で、代々六郎左衛門を名のった。「組屋こすな家文書」は組屋六郎左衛門の家に伝来した史料群であり、中央水産研究所に残る史料のうち、1点の宛先に「組屋六郎左衛門」の名があつて、あるいは「組屋こすな家文書」の一部分の可能性もある。しかし、同家文書は昭和29年に返却されており、また「漁業制度資料目録 第6集」にも、本史料群の史料と一致すると考えられるものは見あたらない。おそらく、元々は「組屋こすな家文書」と一体だったと思われるが、どの段階で分離したかは不明である。

史料群の概要

「漁業制度資料目録 第6集」に、史料群の説明として「室町以来、小浜（おばま）町の豪商として有名である。小浜藩の御用商人であり、それに関する文書、また、文禄慶長ころに活躍した組屋六郎左衛門宗円に関する書簡がある。」と書かれている。

本史料群は2点だが、1点は「漁業制度資料調査保存事業」の際に用いられた水産庁の封筒で、その中に、近世の写しと見られる「疱瘡神五人組相渡申誤証文事」と題された一枚ものの文書が入っていたと考えられる。

